

梶田半古

から
古径・土牛へ

The Artistic Lineage of Modern Nihonga:
Kajita Hanks, Kobayashi Kokei, and Okumura Togyu

2025年

10月4日(土) ~ 12月14日(日)

〔開館時間〕午前9時 ~ 午後5時

〔休館日〕月曜日(ただし10月13日、11月3日、11月24日は開館)

10月14日、11月4日、11月25日

〔会場〕小林古径記念美術館

〔入館料〕一般510円(410円) / 小・中学生、高校生260円(210円)

※()内は20人以上の団体料金

※未就学児および上越市内の小・中学生は無料

〔主催〕小林古径記念美術館



梶田半古《椰子遊戯図》(部分)小林古径記念美術館蔵

梶田半古

から 古怪・土牛

The Artistic Lineage of Modern Nihonga:
Kajita Hanko, Kobayashi Kokei,
and Okumura Togu

梶田半古は、明治3年(1870)に

東京で生まれ、はじめは浮世絵師の桐田玉英に師事し、その後は独学で菊池容斎の『前賢故実』を始めとした古典絵画を学び、西洋画の影響を受けながら独自の画風を築きました。的確な写実に基づいた人物画や歴史画には洗練された気品が漂い、日本絵画協会などに出品された作品は数々の賞を受賞しました。また、半古は尾崎紅葉や徳田秋聲らの文学者とも交流があり、『讀賣新聞』の挿絵を担当して人気を博しました。

半古は明治26年(1893)頃から画塾を開き、門下生には小林古径や前田青邨、奥村土牛などが名を連ねました。塾での指導は多くの画家たちに影響を与え、後に近代日本画壇の代表格となる画家たちを輩出しました。

本展では当館コレクションを中核として、梶田半古から小林古径、奥村土牛へとつながる系譜をたどります。

半古 Hanko

梶田半古(海防範)



梶田半古(海防範)

土牛 Togu

奥村土牛(鷹)個人蔵



奥村土牛(鷹)個人蔵



小林古径(少女)



小林古径(牽牛花)



会期中のイベント

作品鑑賞会 事前申込不要

日時…10月11日(土)、11月15日(土)午後2時から
料金…無料ただし、観覧会入館料が必要となります

講演会「梶田半古の芸術 画家として、師として」(要申込)

日時…10月25日(土)午後2時から

会場…2ノ丸ホール

定員…50名

講師…福田章氏(東京ステーションギャラリー館長)

料金…無料ただし、観覧会入館料が必要となります

ワークショップ「日本画に挑戦 絹に描こう!」(要申込)

日時…11月1日(土)午前9時30分から午後4時30分まで

会場…2ノ丸ホール

定員…10名(中学生以上の、戦を対象)

講師…洞谷聖里佐氏(日本画家)

料金…3000円

内容…展示作品にちなみ、絹地に日本画を描きます

イベント申し込み方法

9月9日(火)午前9時から申し込みを開始します。
メールまたは電話でお申し込みください。(申込順)

①イベント名の②氏名 ③電話番号 ④高校生以下は学年を明記

メールアドレス kokei-kozaki@city.joetsu.lg.jp

電話番号 025-523-8680

交通案内

〔公共交通機関でお越しの場合〕

●えちごトキめき鉄道「高田駅」から、徒歩約15分

●高田駅前案内所からバスにて「高田城址公園」下車、徒歩約5分

●「車でお越しの場合」

●北陸自動車道上越ステーションを降り、国道18号線

鴨島立体交差点右折、高田城址公園内(約15分)

●上越自動車道上越高田インターチェンジを降り、高田城址公園内(約10分)

